

工業簿記・原価計算 ちょっといい話

工業簿記・原価計算は勉強していて「何でこうなるんだろう？」とか「理解に苦しむ」という場面が必ずあります。

考え方を少し変えるだけで思ったよりも早く理解が進むことがあります。

ここでは、そんな「いい話」をまとめておきたいと思います

1. 予定賃率や予定配賦率 率なのに何故%じゃないの

噂ですが、翻訳時に間違った可能性があるようです。

賃率は時間給（時間単価）、配賦率は配賦単価とおきかえて下さい

2. 正常仕損は何故製造原価に含めるのか

こう考えてください

「古い機械で 100 箱（じゃがりこ）を作ると必ず 3 箱は失敗する」

「じゃがりこは原価 50 円なので 150 円損をする」

「新しい機械リース（製造経費です）すると失敗は 0 になるが月に 300 円かかる」

この場合皆さんならどうしますか。

新しい機械にするよりも、3 個の失敗を選んだほうが 150 円得ですよ。

[じゃがりこ] を作るためにリース料という原価を使うか、そのかわりとして失敗を認めるか（失敗を機械をリースするかわりの原価と考える）という事なのです

仕損は機械リースという原価の代わりなのです。

わかったでしょうか？

もちろん誤って 10 個失敗した時は 3 個は原価ですが、7 個は特別な失敗だから特別損失となります

有限会社ケースメソッド 横山 隆志

初版 2008 年 8 月 25 日